



名古屋いのちの電話



写真 文珠幹夫

二人の間に天の風を踊らせておきなさい。

でも ともにありながら、互に隙間をおき、二人の間に天の風を踊らせておきなさい。

愛しいなさい、

しかし愛をもって縛る絆とせず、

二人の魂の岸辺の間に

ゆれ動く海としなさい。

杯を満たし合いなさい、

しかし一つの杯から飲まないように。

ともに歌い踊りよろこびなさい。

しかしそれぞれひとりであるように。

リュートの弦が同じ音楽にふるえても

それぞれ別のものであるにも似て。

自分の心を与えなさい。

しかし互にそれを自分のものにしてはいけない。

なぜなら心をつつみこめるのは生命の手だけだから。

互いにあまり近く立たないように。

なぜなら寺院の柱は離れて立っており

樫や糸杉は互いの影にあっては育たないから。

(ジブラーン「予言者」より)

神谷美恵子訳

— 第11回 いのちの電話全国研修会・

神戸大会に参加して — (1989. 9. 1~9. 3)

H&H (相談員)

今年も全国33のいのちの電話でボランティア活動が続けている相談員が、お互いの研修と交流を図るための全国研修会が神戸で開催されました。私達の「見た・感じた・考えた」大会の様子をお伝えします。

<1日目>

無人で動くポートライナーで神戸の人工の島ポートアイランドの国際会議場に着きました。それらしき人々が集っています。名古屋から香川へ、川崎へ移られたY. S. さん、M. S. さんと再会。総勢550

名が集い開会式が始まりました。斎藤友紀雄連盟副理事長から、今、東側諸国へも広がっている電話相談活動の紹介があり、名古屋の一隅で電話に向う私達が世界の大きな流れの中にいることを知りました。そして示唆に富んだ記念講演(要旨下記)、夜の懇親会へと話の輪・人の輪が広がってゆきました。



(記念講演)

「電話による治療的コミュニケーションの 勘どころを考えよう」

神戸大学医学部精神神経科教授
中井久夫

社会の国際化・情報化の激しい波の中で人間の中のあらゆるものが解放され、人間性が勝つか獣性が勝つかというところまできている。この様な中で社会の広い裾野を支えているのは良き隣人であり「いのちの電話」のようなボランティアの人達であります。孟子のいう「側隠の情」が人間の中にあるからでしょう。人は生身の人間に向って言葉で話すことにより自分の心が整理され健康になっていく。悩みの1/3~1/4は話を聞いてもらうだけで解決していく。

聞く時には一生懸命勉強してきた理論・方法よりもその人の持つ「常識」が重要です。それは偏見を含む社会通念ではなく、一歩しりぞいて相手の側に立ち、広い視野を持つ人間の目で見、考え、感じたものです。「常識」はその人の生れ育った時代・環境からの制約を逃れ得ないが、自分の中に似たものを捜す・テレビや書物・漫画・話し手から学ぶことにより修正していくことができます。

話し方よりもまず聞き方を考えましょう。人間の本能にある教えたい・話したいという欲求を抑える

ことは大変ですが、相手の立場に立つことが基本です。共感が教官にならないように。そのために「合の手」を工夫しましょう。「おゝ」という声を300通り出せる先生がおられます。「精神療法には言葉による治療はない。音調による。」と言われる程、声の調子は大切です。

私はよく「ことわざを用います。ことわざには必ず反対のいゝ廻しがあります。それが話の中にゆとりを生むこととなります。

「いのちの電話」で話される言葉は碁でいう「捨て石」のようなものです。今、役に立たなくても5年後10年後に生きてくるかも知れない。そのような言葉は相手の話を聞き、いろいろな角度から眺めて見る時に自然に湧いてくるものなのです。

「いのちの電話」は「いのちがけ」かも知れないが「いのちの窓」であり、「いのちの満ちる岸」でもあります。相談員は相手の重荷を共に担う(但し一部分のみ)パートナーであることを自覚して、能力に応じ、心と体とゆとりを持ってこの尊い事業を遂行してほしいと思っています。

<2日目>

分科会が下記の通り14に分かれて行われました。卒直な意見の交換が活発になされ、それぞれに大きな収穫と新たな課題を得ました。夕方から夜にかけて、異人館・神戸港・須磨・六甲山などのコースに分れ思い思いに楽しみました。

(分科会)

1. 親子の問題
2. 不倫
3. 常習通話者
4. 登校拒否
5. 夫婦問題
6. 隣人関係
7. 自殺
8. 精神障害(うつ・アルコール依存を中心にした)
9. 精神障害(精神病の疑いのある人を中心にした)
10. 性の問題
11. 高齢者の問題
12. 訓練担当者のために
13. 運営の諸問題
14. 各センターの紹介・情報の交換

<3日目>

(パネルディスカッション)

「共感は豊かな対話を生む」

東山弘子(奈良大学教授)

北村圭三(神戸女学院大学教授)

今井院式(頌栄短期大学教授)

萬代慎逸(頌栄短期大学教授)

- 人の話に共感を持つには、1. 感性 2. 体験 3. 知識の充実が必要でしょう。
- 結婚して七年目で好きな人ができたという女の人の夢を聞いた時「離婚してはだめだ」というのは共感ではない。その人の悲しみ・つらさが解らないと共感できない。
- この社会の競争原理の中でなんとかしようと思っても共感なんかできない。山へ登った時、自分の構えがなくなると山の語りかける声・山の自然の絶対法則が耳に聞こえてくる。相手に対して上下関係なく無心の姿勢になった時共感できるだろう。
- 先程の夢の話だが、私は男は自分の大切なものを外で殺して働き、家庭で妻子の大切なものを殺しているのではないかということまで思ってしまう。

- 私は今、その女の人は結婚って何だろうと真剣に考え始めているんだな—と思った。
- 男女平等といわれる世の中だが、男は既得権を失うつらさがある。平等だ平等だといわれると反発を感じるが、そのつらさを認めてもらうと男と女の関係もより新しい良い段階に入っていけると思う。
- それぞれに違った所で共感していますね。この違いをお互いに検証し合う勇気を持つことが大切ですね。私は屋久島の杉と京の北山杉を思った。双方の世界は人がずっと住み続ける所ではない。人間の住む社会で現実の生活を営んでいる。屋久島で得たものを現実化し言語化していく。そこで生きていく。そうすることにより共感し合い共に生きていけるのではないかと思う。

パネルディスカッションはユーモアにあふれ、その中に辛みが効き日頃のもやもやの一つがスーと消えていきました。そして須磨琴のみやびな調べに酔い、次回の栃木大会のアピールがあり、又、会う日を約して三日間の大会の幕が降りました。

神戸の地で多くの人々に支えられたこの三日間の大会は、私達の心に新たな希望の灯をともしました。この火のぬくもりを守り、伝えていきたいと思っております。



ひとりぼっちで悩まずに…… 052 (9 7 1) 4 3 4 3



五期生 訓練始まる

お陰様でこの秋から第5期の相談員養成講座を始めることができました。55名の方々にご応募をいただき、33名でスタートです。

第1回の講座は、開局当初から訓練委員として研修を担当して下さっている山口真人先生の「名古屋いのちの電話とは」。折しも第4回のチャリティーコンサート当日。ちょっと緊張気味の受講生を前に、ゴスペルクワイヤーのシンガー達に負けじとしゃべり、笑わせ、励まし……そんな2時間45分でした。

「電話というメディアがどの様に使われているかということを見ると、情報の伝達ということだけではないような気がします。特に若い人たちを見ると、用事がある訳じゃない……でもなんかちょっと話したい、感情を発散したいということから電話をしています。つまり自分自身がすっきりするため、落ちつくために電話することもあるようで、電話の担う役割の中には、情報を正しく伝達することとは異なる側面があるということです。

いのちの電話でも情報を求められることはあります。しかし、大部分の相談電話は何かを知りたくてかけてくるわけではありません。こちらが何を言ってもそんなことはわかっている、というような状態から始まります。むしろ利用者にとっては自分の持っている感情がすっきりしない。それが電話を通してすっきりする。落ち着ける。そういう働きがいのちの電話の大切な部分になっているんだろうと思います。

それでは現代人は何故このような電話の使い方を必要とするんだろうかということを考えていきますと、それは私たちが住んでいる社会のあり方と関連しているといえそうです。

昔は、自分で作れるものを作り、それを食べて暮らしていた。直接関わることでできる人と共に仕事し、生活し、村を作り、ほとんどの人がその中で一生を終えていく。そこには大きな組織など必要なかったと言えるでしょう。けれど産業化が進み、工場ができ、会社ができ、たくさんの人間を管理する必要

がでてくると組織が生まれる。人々が町にどんどん集まってくると、町にも役所ができたり、大きなアパートができたりする。大都市にはたくさんの人が住んでいて、もうぎしぎしに人が住んでいるはずなのに隣で誰が何をしているのかわからない。先日新聞に何カ月も前に亡くなられたお年寄りが発見されたという記事が載っていました。たくさんの人が集まっているけれども、その中で人間が原子のようにあるいは砂粒のようにぼつんと孤立している、隣とつながっているはずなのに繋がっていない、そんなふうな孤独感のようなものも生まれてきていると思うのです。

このような現象を社会学者は「疎外」と呼んで次のような特性をあげています。

1. 無力感（私なんか何の影響力もないなあ……）
2. 無意味感（私が存在する意味なんてないのでは……）
3. 無基準感（何を正しいもの大切なものと考えたらいいのかが分からない）
4. 孤独感（自分が人とつながっている感じ、共に生きている感じがしない）
5. 自己疎隔（自分自身をモノ化して、自分の意志とか感情がわからない）

この後「いのちの電話」の歴史や「名古屋いのちの電話」の組織などのお話があり、最後に5期生の方々へのメッセージで、第1回の講義が締めくくられました。

「皆さんどうぞ“しろうと”であることを大切にしてください。特別な借り物の応答技術は不必要です。あなたが電話の中で利用者とまっすぐに向かい合えること……それが目標です。

電話相談員として成長するということは、あなたが本物の対話的人間になるということであり、あなたが人間として真に成熟するということなのです。」

訓練担当主事 青木明子

大成功 ニューヨーク・ハーレム

ゴスペル・コンサート

恒例のチャリティーコンサートが決ったのは、2ヶ月前の運営委員会であった。

一昨年の由起さおりさんの大成功は例外で、ふつうは労多くして収益が思うにまかせないというのが実情である。素人が興行で儲けようというのが所詮無理なのかも知れない。そんな迷いの時期、梶原寿先生からゴスペルの話が持ちこまれた。中日紙に予告が取り上げられて、その反響の大きさに驚かされたわけだが、当初運営委員の多くには初耳の音楽で、客が集まるだろうか、切符はいくらなら売れるだろう、というのが卒直な疑問であった。人気ロック歌手、角松敏生さんの結婚式に出演のため来日、一日の日程をさいてもよいという説明があった。角松さんがわざわざ呼ぶんだから悪いはずはない、という判断で取組むことにした。

会場は500人規模という見とおして五反城教会をお願いし、いよいよ準備にかかったが、実は当初から採算の不安が頭をはなれず、必要経費を最少限におさえようというわけで、チケット、ポスター、プログラム、一切を手づくりにした。これが結構楽しいもので、皆の知恵を出し合うと、なかなかのものが出来るという自信を得たのも大きな成果であった。プログラム作成には、歌手の方たちの写真や、お金を頂いている広告をきれいに印刷するために係一同頭を集めて工夫したが、これで600部刷るのは楽ではなかった。ふり返ってみればこれも“いのちの電話”ならではのバイタリティー一杯の活動であったと思う。

ケイナン・バプテスト教会。まさにニューヨーク下町ハーレムの教会、そしてウォーカー牧師は全米の指導的立場にある大物である。



これらの教会で歌われるゴスペルは、中世以来の厳粛で荘厳な教会音楽と趣きを異にし、参列者一人一人の魂の叫びによって作られる音楽である。激しく力強く心をゆさぶられる。その意味で現代音楽家達が注目しているわけである。

9月21日ウォーカー牧師夫妻のほか男性3人、女性4人の1行は会員の寺を見学、お抹茶に足のしびれる体験をしたが1番興味のあったことは別院のお彼岸縁日。重い陶器を買い込んだ。

開場30分前にすでに列ができ、当日売りだけでも約100人あったというのがその反響をもの語っている。出演料は30万円という破格の奉仕でお願いできたこと、印刷等の経費を大巾に節約できたこともあって932,584円の実収入をあげることができた。ユニークな催しであったわけだが全員関係者のご協力の賜物であるとして心よりお礼申します。

お東幼稚園々長
運営委員 水谷 巍 タカシ
コンサート実行委員長

愛知県共同募金会から配分金30万円

平成元年度（1989年度）から「名古屋いのちの電話」の相談事業に対して、特にスーパービジョン（相談員個別研修）のために30万円の配分金を受配されることを指定されました。愛知県共同募金会の会長さんはもとより、常務理事渡辺寅三氏のご理解とご援助を得ました。



ご援助ありがとうございます

1989年4月1日より10月31日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告申し上げます。

名古屋いのちの電話
理事長 相馬信夫
財務委員会

=個人会員=(順不同・敬称略)

賛助会員(A)

梶原 寿子	原 智津子	田 畑 洋 子	惣 卜 良 夫	伊 藤 亥 之 女	飯 尾 て る
伊藤 とき子	芝 原 慶 次	芝 原 比 輝	中 堀 仁 四 郎	江 史 正 高	長 井 祐 潤
水谷 巍一	奈 加 藤 迪	明 吉 田 千 鶴	高 橋 卓 司	豊 波 山 塩	木 村 村 弥
内川 恵一	西 沢 信 恒	加 藤 慎 紀	津 加 藤 久 保	田 野 田 美 井	西 山 加 藤 隆
木島 正幸	牧 岡 中 健	文 中 柴 石	栃 比 野 大 和	宇 佐 藤 加 阿	木 山 加 藤 武
中川 幸子	田 早 古 柳	大 野 悦	日 比 野 三 田	藤 井 藤 部	西 山 加 藤 一
梶浦 幸和	早 古 柳	野 悦	大 和 田 三 田	井 藤 部	西 山 加 藤 一
尾崎 馬信	早 古 柳	野 悦	三 田 村 布 施	加 藤 部	西 山 加 藤 一
相馬 須福	早 古 柳	野 悦			西 山 加 藤 一

賛助会員(B)

梶原 久江	一 圓 俊 郎	間 瀬 喜 郎	河 津 百 合	宮 内 英 夫	石 田 義 人
大塚 博彦	岩 山 光 彌	白 足 榎 直	山 川 伴 金	浅 林 部 木	松 横 近 神
粕谷 靖子	真 山 菊 田	榎 直 榎 山	川 伴 金 桐	林 部 木 井	横 近 神 松
内村 治生	岡 菊 田 藤	榎 直 榎 山	伴 金 桐 誠	部 木 井 上	神 松 小 原
白田 寿栄	佐 福 菊 佐	榎 直 榎 山	金 桐 誠 小	木 井 上 崎	松 小 原 竹
青石 美恵	福 菊 佐 川	榎 直 榎 山	桐 誠 小 河	井 上 崎 藤	小 原 竹 稻
長川 美栄	菊 佐 川 神	榎 直 榎 山	誠 小 河 山	上 崎 藤 尾	竹 稻 八
石市 前	佐 川 神	榎 直 榎 山	小 河 山 成	崎 藤 尾 波	八
三輪	神	榎 直 榎 山	成	波	

賛助会員(C)

石田 喜代子	宮 田 喜代子	一 佐 野 百 合	岡 崎 和 子	素 来 萬 里	鈴 木 久 野
加藤 みゆき	多 和 田 い み	西 田 ス エ	秋 田 芳 江	勝 股 郁 子	池 中 ひとみ
相馬 貞蔵	浦 下 桂 子	竹 内 宏 子	鬼 頭 明 枝	林	中 ひとみ

第2回 “街頭キャンペーン”

「いのちの電話を応援する宗教者の集い」では、去る10月26日、昨年に引き続き第2回目の街頭キャンペーンを実施した。これは、より多くの市民の皆様に、「いのちの電話」を知って戴きたいとの願いを込めたPR活動で、合せて募金も行なった。

当日は、夏の日射しを思わせる汗ばむほどの快晴。午後2時30分、栄の中央教会へ結集、牧師、修道女、僧職11名、一般奉仕者10数名、2班に分かれて栄交差点を中心に一時間半のPRと募金。大きな声を張り上げてPR。「いのちの電話を応援する宗教者の集い」と書かれたノボリを怪げんそうにながめる視線。去年は、面はゆい感もあったが今年は二度目、牧師さんと坊さんが並んで立っているのを、人々がどんな思いで見ているのかと考えるゆと



りもある。社会福祉法人設立のための基金勧募に、某仏具商を訪れた時の会話が頭をよぎる。「人々のため頑張ってください。」

気持ちの良い快晴の秋空の下、爽やかな浄財2万余も賜わることも出来た。ご協力下さった方々に深く感謝申し上げます。

その夕方のことであるが、街頭でチラシを受取った男性から、早速相談の電話が入ったとのこと、多教の方が力を合わせてPRに励んだ成果だ。悩みの無いのが最良であろうが悩むのが人間である。「いのちの電話」を上手に利用して戴きたいと思う。

曹洞宗薬師寺住職
柿本 大真

名古屋いのちの電話日誌

4月28日(金) 財務・基金委員会	7月31日(月) 運営委員会
5月9日(火) 第4期相談員認定式	9月1~3日 全国相談員神戸大会
15日(月) 理事会、運営委員会	7日(木) 訓練委員会
26日(金) 財務・基金委員会	8日(金) 財務委員会
6月12日(月) 運営委員会	14日(木) 第5期相談員養成講座開講
19日(月) 訓練委員会	18日(月) 運営委員会
20日(火) 第2回笠原先生公開講演会	21日(木) ニューヨーク・ゴスペルコンサート
30日(金) 財務・基金委員会	25日(月) 理事会
7月1日(土) 第4回フォーラム	10月9日(月) 訓練委員会
10日(月) 運営委員会	16日(月) 運営委員会
17日(月) 訓練委員会	20日(金) 財務委員会
28日(金) 財務委員会	

「名古屋いのちの電話」の相談事業にご協力下さい。

名古屋いのちの電話はボランティアによる運動です。多くの方々の協力によって、電話相談員の養成訓練、相談電話の受信、運営事務、設備、広報機関等の管理を行っています。このためには年間きまった資金が必要です。夫々のボランティアと共に、特に資金ボランティアとして、名古屋いのちの電話を支えて下さるお一人になって下さるようお願いいたします。

又友人、知人お心のある方をも是非ご紹介下さい。下記のような方法で運営資金のご協力をあおいでおります。

- ① 賛助会費 (年間1口)
 - A—10,000円、B—5,000円、C—3,000円
- ② 法人会費 (年間1口1万円、1口以上)
- ③ 一般寄付 自由な金額で寄付いただいています。
- ④ クリスマス・年末寄付
- ◎ご送金は
 - 郵便振替口座 ナゴヤ 1-53758(振替用紙有り)
 - 東海銀行大津町支店 普通預金口座 477-029
 なお、お誕生日カードを差し上げます、生年月日をお知らせ下さい。

名古屋いのちの電話

1989. 晩秋

〒451-91 名古屋東郵便局 私書箱第257号

1989年11月1日 発行

事務局 ☎052-971-5181

郵便振替口座 ナゴヤ 1-53758

発行人 相馬 信夫

相談電話 ☎052-971-4343

東海銀行大津町支店(普)預金口座 477029

編集人 広報委員会